

授業科目 日常生活活動学実習

【担当教員名】 小林量作 助手	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標 : GIO>】  
前期で学習した日常生活活動 (ADL) の知識を基に、動作方法、介助方法、機器・用具の使い方を体験し習得する。また、実際の事例、模擬事例を通して、ADL 問題点の抽出、プログラム立案を行い、学生間で討論することによって、知識の統合を図る。

【<学習目標>又は<行動目標 : SBO>】

1. 起居動作の指導方法を習得する。
2. 歩行補助具の使い方を習得する。
3. 車いす操作法、介助法を習得する。
4. 姿勢保持・移乗動作介助法を習得する。
5. 事例を通してADLプログラムを立案する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO		
		番号	学習方法・学習課題又は備考	担当教員
1	歩行補助具・車椅子の使い方	2.3	実習・講義	小林 補助
2	歩行補助具・車椅子の使い方	2.3	実習・講義	小林 補助
3	歩行補助具・車椅子の使い方	2.3	実習・講義	小林 補助
4	歩行補助具・車椅子の使い方	2.3	実習・講義	小林 補助
5	片麻痺のADL		実習・講義	小林 補助
6	起居動作の指導	1	実習・講義	小林 補助
7	起居動作の指導	1	実習・講義	小林 補助
8	姿勢・ベッドポジショニング		実習・講義	小林 補助
9	斜面台の使用法		実習・講義	小林 補助
10	神経難病のADL		実習・講義	小林 補助
11	移乗動作の介助法		実習・講義	小林 補助
12	移乗動作の介助法		実習・講義	小林 補助
13	演習問題	6	実習・講義	小林 補助
14	ADLプログラム	6	実習・講義	小林 補助

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	日常生活活動 (動作) - 評価と訓練の実際 -	土田弘吉・他編	医歯薬出版	1992年
参考書	新版姿勢と動作 - ADL その基礎から応用 -	斎藤 宏・他編	メヂカルフレンド社	2000年
その他の資料	日常生活活動 (ADL)	橋本 隆・他編	神陵文庫	1998年

【評価方法】 出席、レポート、実技試験、期末試験、その他	【履修上の留意点】 実技ができる服装になっていること。
---------------------------------	--------------------------------